



JPX-NIKKEI 400

2023 - 2024

JPX-NIKKEI Mid Small

2021 - 2024

2025年3月期（第57期） 決算説明会資料

加賀電子株式会社

<プライム市場 8154>

2025年5月22日

KAGA ELECTRONICS CO., LTD.

2025年3月期 決算概要

上席執行役員 管理本部長
石原 康広

加賀電子の石原でございます。
平素よりご支援、お引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
また、本日は弊社の決算概要説明を御視聴頂き、誠にありがとうございます。
それでは、私より、2025年3月期 決算の概要について、ご説明申し上げます。

2025年3月期決算 サマリー

2025年3月期 実績

- 売上高：前期比50億円 (0.9%) 増収の5,477億円。
部品販売ビジネスは、在庫調整長期化や特定大口顧客との取引終息し減収も、EMSビジネス、アミューズメント機器ビジネスは堅調に推移。
- 営業利益：前期比22億円 (8.7%) 減益の236億円。
売上総利益は僅かに増益確保も、人件費や物流費など販管費が大きく増加。
- 当期純利益：前期比32億円 (16.0%) 減益の170億円。
前年計上の投資有価証券売却益(14億円)、負ののれん益(4億円)など剥落。

2026年3月期 見通し

- 事業環境：中長期的には自動車の電動化や自動運転など車載向けを中心として需要拡大が期待されるも、短期的には在庫調整長引き、本格的な需要回復は26/3期後半を見込む。
- 為替前提：USDドルは、前期比12円強円高の140円を前提とする。
為替換算の影響は、売上高で170億円、営業利益で5億円の減少を織込む。
- 業績予想：概ね前期並みの「売上高5,300億円、営業利益230億円、当期純利益165億円」を見込む。

株主還元

- 25/3期：前回予想（2024年5月9日公表）通り、期末配当は1株当たり55円。
中間配当と合わせた年間配当は、前期同額の1株当たり110円。
※24年10月に株式分割（1:2）を実施。年間配当1株当たり110円は分割調整後。
- 26/3期：最終利益減益予想も、前期実績の1株当たり110円を据え置く。



2025年3月期の実績です。

売上高は、前期比50億円増収の5,477億円となりました。

部品販売ビジネスでは、懸念されていた主要顧客の在庫調整が長期化していることや海外子会社における特定大口顧客向け取引が収束したことなどから減収となりましたが、EMSビジネス、アミューズメント機器ビジネス、ソフトウェア事業などは堅調に推移し、全体では僅かながら増収で着地いたしました。

営業利益は、前期比22億円減益の236億円となりました。

販売ミックス良化により売上総利益率は13.1%に向上し、売上総利益は前年比1.7%増益となりましたが、賃上げの実施による人件費の増加や物流コストの上昇などの影響による販管費の増加を補いきれませんでした。

経常利益は、為替変動の影響による為替差損の計上などにより、前年比33億円減益の225億円となり、

当期純利益につきましては、前期に特別利益として計上した投資有価証券売却益、企業買収に伴う負ののれん発生益などの剥落により、前年比32億円減益の170億円となりました。

続いて2026年3月期の見通しです。

当社の属するエレクトロニクス関連市場においては、中長期的には自動車の電動化や自動運転の進化など車載向けが中心となり需要拡大することを期待しておりますが、短期的には顧客在庫調整が依然として長引いていることから、本格的な需要回復は2026年3月期の後半を見込んでおります。

また、2026年3月期については、USDドルの想定為替レートを、前期に比べて12円強円高の140円とし、売上高で170億円、営業利益で5億円の減少を為替換算影響として織り込んでおります。

加えて、米国における関税政策による当社業績への影響についても、一定の想定の下で算定し、リスクファクターとして織り込み、

2026年3月期の見通しについては、概ね前期並みの

売上高5,300億円、営業利益230億円、当期純利益165億円といたしました。

株主還元について、ご説明いたします。

2025年3月期の期末配当は、昨年5月に公表いたしました通り、1株あたり55円を予定しております。

中間配当と合わせた年間配当は、前期と同額の1株あたり110円となります。

2026年3月期の配当については、最終利益は減益予想であります、1株あたり110円を維持する方針です。

2025年3月期 業績ハイライト

(単位：百万円)

	2024/3期 実績	2025/3期 実績	前年比	2025/3期 業績予想 (2024年5月9日公表)	予想比
売上高	542,697	547,779	0.9%	555,000	△1.3%
売上総利益	70,452 13.0%	71,665 13.1%	1.7%	—	—
販売費及び一般管理費	44,607 8.2%	48,064 8.8%	7.8%	—	—
営業利益	25,845 4.8%	23,601 4.3%	△8.7%	26,000 4.7%	△9.2%
経常利益	25,976 4.8%	22,593 4.1%	△13.0%	26,000 4.7%	△13.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,345 3.7%	17,083 3.1%	△16.0%	18,000 3.2%	△5.1%
EPS (円) *2	387.30	325.08	—	342.53	—
ROE	14.5%	10.8%	△3.7pt	11.5%	△0.7pt
為替レート 円/US\$	144.62	152.58	—	145.00	—

(注)：1. 為替による影響額は、売上高が11,045百万円、営業利益が577百万円です。
2. 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、EPSを算出しております。
3. 「x.x%」は、売上高対比の率を表します。



次ページの業績ハイライトは、ただいまご説明した通りであります。
当期におけるEPS(一株当たり当期純利益)は、325円08銭となりました。
ROEは10.8%となり、前期比で3.7ポイント低下しております。獲得利益の大半が純資産に積み増しされ、財務の安定性、健全性は高まる一方で、資本効率の面では、今後、更なる改善に向けた積極的な取り組みの必要性を感じております。
また、当期における期中平均為替レートは、ドル・円で152円58銭となっており、前期の実績レート144円62銭および通期業績予想の想定レート145円と比べて、8円程度円安に振れております。
為替の変動による前期比の影響額は、売上高で約110億円の増収、営業利益では約5億円の増益影響となります。

2025年3月期 セグメント別業績

(単位：百万円)

		2024/3期 実績	2025/3期 実績	前年比	2025/3期 業績予想 (2024年5月9日公表)	予想比
電子部品	売上高	472,583	472,910	0.1%	482,500	△2.0%
	セグメント利益	20,887 4.4%	16,927 3.6%	△19.0%	20,900 4.3%	△19.0%
情報機器	売上高	44,305	42,652	△3.7%	45,000	△5.2%
	セグメント利益	2,924 6.6%	3,307 7.8%	13.1%	3,000 6.7%	10.2%
ソフトウェア	売上高	2,567	3,387	31.9%	3,000	12.9%
	セグメント利益	370 14.4%	509 15.1%	37.8%	400 13.3%	27.5%
その他	売上高	23,241	28,829	24.0%	24,500	17.7%
	セグメント利益	1,555 6.7%	2,707 9.4%	74.0%	1,700 6.9%	59.3%
合計	売上高	542,697	547,779	0.9%	555,000	△1.3%
	セグメント利益	25,845 4.8%	23,601 4.3%	△8.7%	26,000 4.7%	△9.2%

(注)：1. セグメント利益は、各セグメントでは調整前の数値、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2. 「△、×、％」は利益率を表します。



セグメント別の業績です。

電子部品事業では、まず主力の部品販売ビジネスで、一部の顧客における在庫調整の影響が長引く中、加賀FEIにおけるSoC製品の販売伸び悩み、エクセルの海外子会社における特定大口顧客向け取引の終息が重なり前期比で減収となりました。一方、EMSビジネスでは、車載向けおよび医療向けが堅調に推移し、産業機器向けが回復したこと、在庫調整局面にあった空調機器向けも第2四半期からの緩やかな回復傾向が持続し、増収となりました。

これらの結果、電子部品事業全体では売上高は前期並みで着地いたしました。セグメント利益では販管費の増加を補いきれず前期比で減益となりました。

情報機器事業におきましては、教育機関向けパソコン販売は好調を維持しましたが、量販店向けは主要PCメーカーにおける商品ラインナップ縮小の影響を受け低調に推移しました。またLED設置ビジネスでは前々期より本格展開していた大口案件が一巡したことにより、売上高は前期比で減少しました。一方、セグメント利益については、比較的採算性の高いセキュリティソフトの販売が好調であったことから利益率は向上し、増益を確保しました。

ソフトウェア事業では、CG映像制作の受注が好調に推移し、売上高、セグメント利益額、利益率、ともに前期を上回る結果となりました。

その他事業についても、PC製品およびPC周辺機器のリサイクルビジネスは堅調に推移し、大型遊戯施設向けに機器・サービスを提供するアミューズメント機器ビジネスは、米国向け販売が好調に推移した結果、売上高、セグメント利益額、利益率、ともに前期を上回る結果となりました。

7ページ～8ページにも、事業セグメント別の記載がありますので、併せてご覧ください。

2025年3月期 会社別業績

(単位：百万円)

		2024/3期 実績	2025/3期 実績	前年比
加賀電子	売上高	315,404	319,527	1.3%
	売上総利益	47,373 <i>15.0%</i>	49,919 <i>15.6%</i>	5.4%
	営業利益	19,580 <i>6.2%</i>	19,855 <i>6.2%</i>	1.4%
加賀FEI	売上高	190,684	197,868	3.8%
	売上総利益	19,218 <i>10.1%</i>	17,901 <i>9.0%</i>	△6.8%
	営業利益	4,413 <i>2.3%</i>	1,860 <i>0.9%</i>	△57.9%
エクセル	売上高	36,608	30,383	△17.0%
	売上総利益	3,834 <i>10.5%</i>	3,782 <i>12.4%</i>	△1.4%
	営業利益	1,653 <i>4.5%</i>	1,645 <i>5.4%</i>	△0.5%
合計	売上高	542,697	547,779	0.9%
	売上総利益	70,452 <i>13.0%</i>	71,665 <i>13.1%</i>	1.7%
	営業利益	25,845 <i>4.8%</i>	23,601 <i>4.3%</i>	△8.7%

(注)：1. 会社別の売上総利益および営業利益は、連結調整前の数値を記載しております。
2. 「*x.x%*」は利益率を表します。



5

続いて会社別の業績について、ご説明いたします。

従来からの加賀電子グループにおきましては、一部顧客の在庫調整長期化の影響はあるものの、売上高は僅かながらも増収、また販売ミックスの良化により売上総利益率も向上し、売上総利益も増益となりました。賃上げ影響や物流費の増加による販管費の増加がありましたが、その費用増加分も補い、営業利益でも増益を確保いたしました。

加賀FEIグループにおいては、一部顧客の在庫調整が長期化する中、売上高は堅調に推移し増収を確保したものの、販売ミックスの悪化により売上総利益率は低下し、売上総利益も減益となりました。加えて賃上げ影響や物流費の増加による販管費の増加が重なり、営業利益でも減益となりました。

エクセルグループにおいては、大口顧客向け売上の減少はあったものの、販売ミックス良化により売上総利益率は向上し、利益面では売上高ほどの低下は見られず、売上総利益、営業利益ともに、ほぼ前期並みの水準を維持しております。

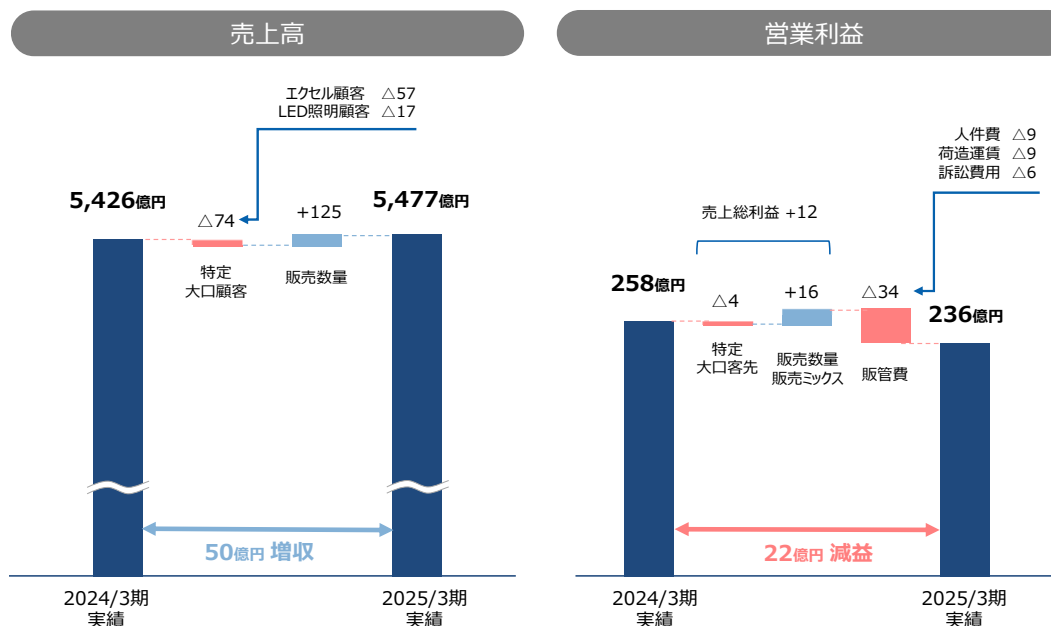
ここで、参考資料として27ページにある売上高の四半期推移グラフをご確認ください。2025年3月期の業績は、四半期毎に1Qから4Qに進むにつれて、売上高は常に右肩上がりに推移しております。一部顧客の在庫調整は長引いておりますが、そのような環境の中でも販売数量を確実に拡大し、次期に向けた回復トレンドを強く感じ取って頂けるものと思います。

9ページ～14ページには、直近3か月間のクォーター情報がございますので、併せてご覧ください。

2025年3月期 売上高/営業利益 変動要因

参考

(単位：億円)



売上高・営業利益における、前期比の変動要因について、ご説明いたします。
 売上高では、エクセルの特定大口顧客向け取引の減少により57億円、前々期より継続していたLED 設置ビジネス大口案件の一巡により17億円、それぞれ減少しました。
 一方、

主要顧客における在庫調整長期化の影響の中、販売数量の回復に努めた結果、125億円の増収となり、トータルでも50億円の増収で着地いたしました。

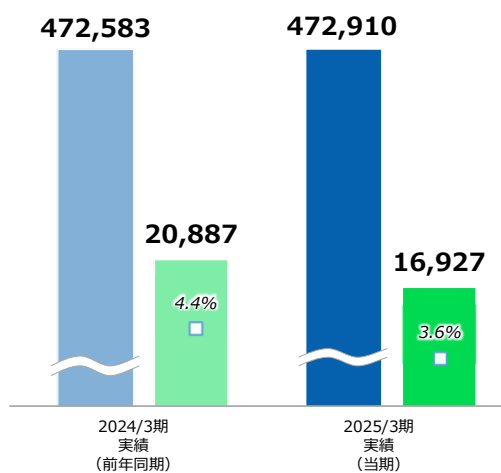
営業利益では、前年比22億円の減益となりましたが、主な要因は、特定大口顧客向け取引の減少による△4億円、販売数量の増加、販売ミックスの良化による+16億円、これらにより売上総利益は差し引き12億円の増益、グループ全体で実施した賃上げによる人件費の増加9億円や物流コストの上昇による9億円の増加、子会社における訴訟費用6億円の増加など、販管費の増加による△34億円という内訳となっております。

2025年3月期：電子部品事業

売上高・セグメント利益

(単位：百万円)

■/■ 売上高
■/■ セグメント利益



(注)：「x.x%」は利益率を表します。

前年比

● 売上高	▶	327百万円	0.1%増
● セグメント利益	▶	△3,959百万円	19.0%減

- ・ 部品販売ビジネスは、前期比減収。
- ・ 一部顧客における在庫調整が当初の想定より長引くとともに、加賀FEIは、SoC（System-on-Chip）製品が伸び悩み、エクセルは、海外子会社で特定大口顧客向け取引が終息する。
- ・ EMSビジネスは、前期比増収。
- ・ 車載向けおよび医療向けが堅調。産業機器向けの回復に加え、調整局面にあった空調機器向けも回復傾向が続く。

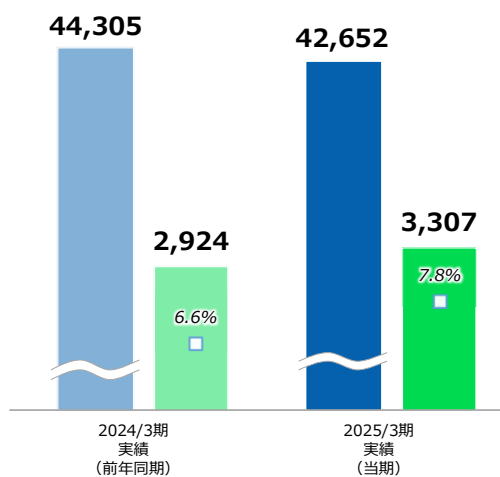


2025年3月期：情報機器事業

売上高・セグメント利益

(単位：百万円)

■/■ 売上高
■/■ セグメント利益



前年比

● 売上高 ▶ △1,652百万円 3.7%減
● セグメント利益 ▶ +383百万円 13.1%増

・ パソコン販売ビジネスは、前期比減収。
・ 教育機関向けは好調を維持するも、量販店向けはPCメーカーにおける商品ラインナップ縮小の影響を受け低調。一方、好採算のセキュリティソフトの販売が寄与し増益。

・ LED設置ビジネスは、前々期より本格展開していた大口案件の一巡により減収。



(注)：「x.x%」は利益率を表します。

2025年3月期 業績ハイライト（直近3カ月）

参考

（単位：百万円）

	2024/3期 4Q実績 (前年同期)	2025/3期 3Q実績 (直前期)	2025/3期 4Q実績 (当期)	前年同期比	直前期比
売上高	136,239	137,178	151,536	11.2%	10.5%
売上総利益	18,200 13.4%	18,056 13.2%	19,475 12.9%	7.0%	7.9%
販売費及び一般管理費	12,846 9.4%	11,502 8.4%	13,930 9.2%	8.4%	21.1%
営業利益	5,353 3.9%	6,554 4.8%	5,545 3.7%	3.6%	△15.4%
経常利益	5,664 4.2%	7,101 5.2%	4,214 2.8%	△25.6%	△40.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,353 3.2%	4,773 3.5%	4,368 2.9%	0.3%	△8.5%
EPS *2 (円)	165.73 -	90.82 -	83.11 -	-	-

- (注) : 1. 為替による影響額は、売上高が3,998百万円、営業利益が372百万円です。
2. 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、EPSを算出しております。
3. 「x.x%」は、売上高対比の率を表します。

2025年3月期 セグメント別業績（直近3カ月）

参考

（単位：百万円）

		2024/3期 4Q実績 (前年同期)	2025/3期 3Q実績 (直前期)	2025/3期 4Q実績 (当期)	前年同期比	直前期比
電子部品	売上高	114,788	120,345	126,697	10.4%	5.3%
	セグメント利益	3,738 3.3%	4,888 4.1%	3,358 2.7%	△10.2%	△31.3%
情報機器	売上高	14,038	8,320	15,699	11.8%	88.7%
	セグメント利益	1,002 7.1%	561 6.7%	1,353 8.6%	35.1%	141.2%
ソフトウェア	売上高	750	599	1,316	75.3%	119.7%
	セグメント利益	107 14.3%	52 8.7%	201 15.3%	87.3%	286.5%
その他	売上高	6,660	7,913	7,822	17.5%	△1.1%
	セグメント利益	495 7.4%	1,002 12.7%	610 7.8%	23.1%	△39.1%
合計	売上高	136,239	137,178	151,536	11.2%	10.5%
	セグメント利益	5,353 3.9%	6,554 4.8%	5,545 3.7%	3.6%	△15.4%

（注）：1. セグメント利益は、各セグメントでは調整前の数値、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2. 「×. ×%」は利益率を表します。

2025年3月期 会社別業績（直近3カ月）

参考

（単位：百万円）

		2024/3期 4Q実績 (前年同期)	2025/3期 3Q実績 (直前期)	2025/3期 4Q実績 (当期)	前年同期比	直前期比
加賀電子	売上高	80,478	80,826	90,546	12.5%	12.0%
	売上総利益	12,165 15.1%	12,676 15.7%	13,557 15.0%	11.4%	6.9%
	営業利益	3,922 4.9%	5,605 6.9%	4,560 5.0%	16.3%	△18.6%
加賀FEI	売上高	47,556	48,779	52,305	10.0%	7.2%
	売上総利益	5,075 10.7%	4,439 9.1%	4,783 9.1%	△5.7%	7.8%
	営業利益	980 2.1%	481 1.0%	386 0.7%	△60.6%	△19.7%
エクセル	売上高	8,203	7,572	8,683	5.9%	14.7%
	売上総利益	915 11.2%	941 12.4%	1,105 12.7%	20.7%	17.4%
	営業利益	332 4.1%	427 5.6%	525 6.0%	57.7%	22.9%
合計	売上高	136,239	137,178	151,536	11.2%	10.5%
	売上総利益	18,200 13.4%	18,056 13.2%	19,475 12.9%	7.0%	7.9%
	営業利益	5,353 3.9%	6,554 4.8%	5,545 3.7%	3.6%	△15.4%

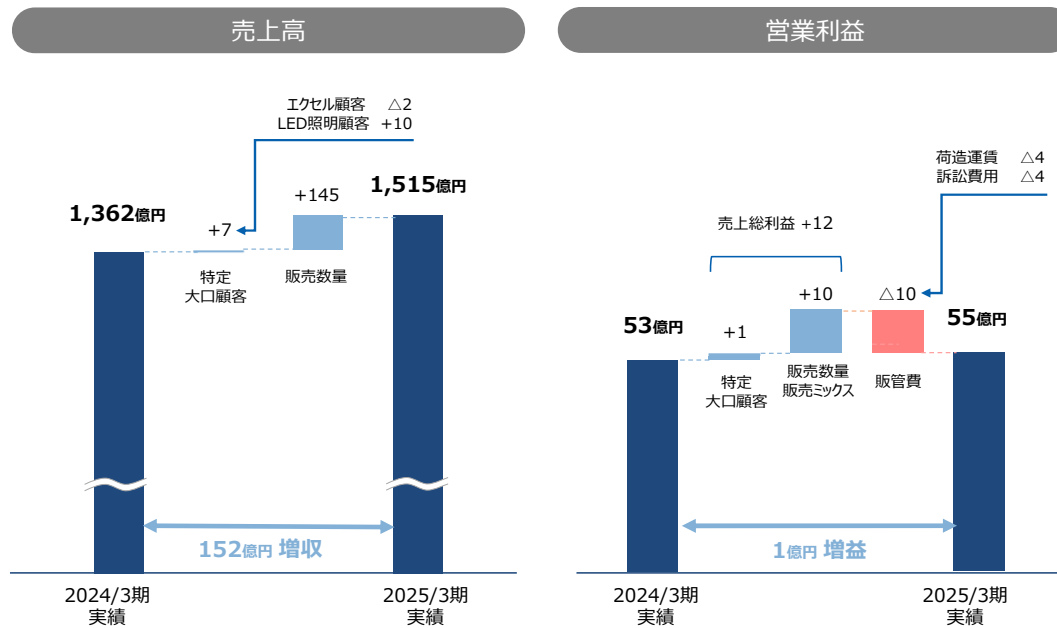
（注）：1. 会社別の売上総利益および営業利益は、連結調整前の数値を記載しております。
2. 「×.×%」は利益率を表します。



2025年3月期 売上高/営業利益 変動要因（直近3カ月）

参考

（単位：億円）



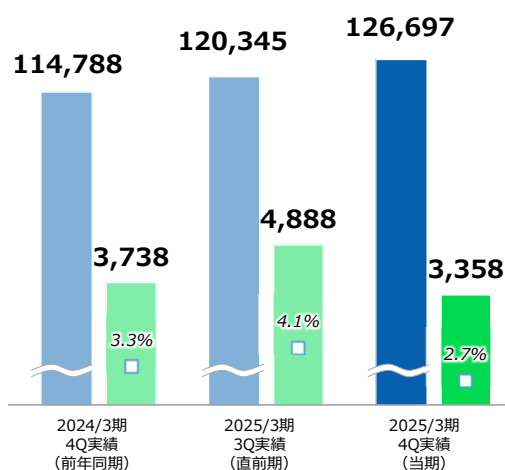
2025年3月期：電子部品事業（直近3カ月）

参考

売上高・セグメント利益

(単位：百万円)

■売上高
■セグメント利益



前年同期比

●売上高 ▶ **+11,908**百万円 **10.4%増**
●セグメント利益 ▶ **△379**百万円 **10.2%減**

直前期比

●売上高 ▶ **+6,351**百万円 **5.3%増**
●セグメント利益 ▶ **△1,529**百万円 **31.3%減**



(注)：「x.x%」は利益率を表します。

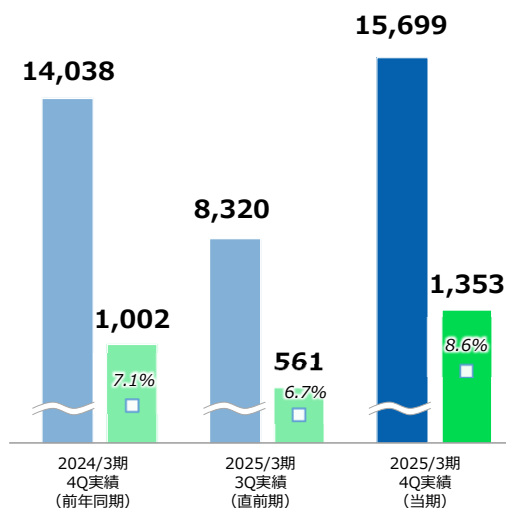
2025年3月期：情報機器事業（直近3カ月）

参考

売上高・セグメント利益

(単位：百万円)

■売上高
■セグメント利益



前年同期比

●売上高 ▶ **+1,660百万円 11.8%増**
●セグメント利益 ▶ **+351百万円 35.1%増**

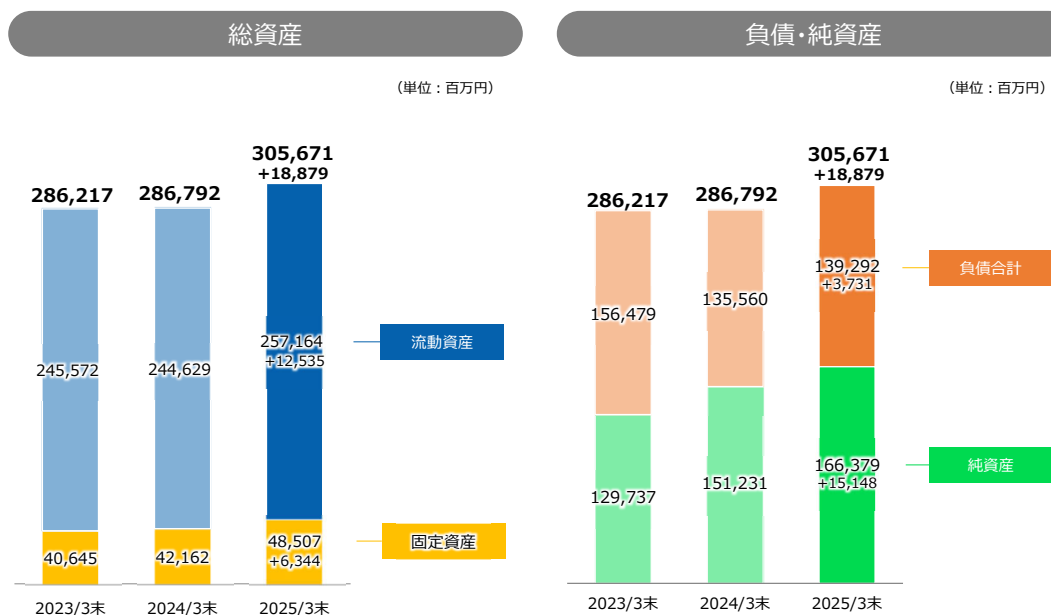
直前期比

●売上高 ▶ **+7,379百万円 88.7%増**
●セグメント利益 ▶ **+792百万円 141.2%増**



(注)：「x.x%」は利益率を表します。

貸借対照表主要項目



ここからは、貸借対照表の状況について、ご説明いたします。

始めに資産の部となります。

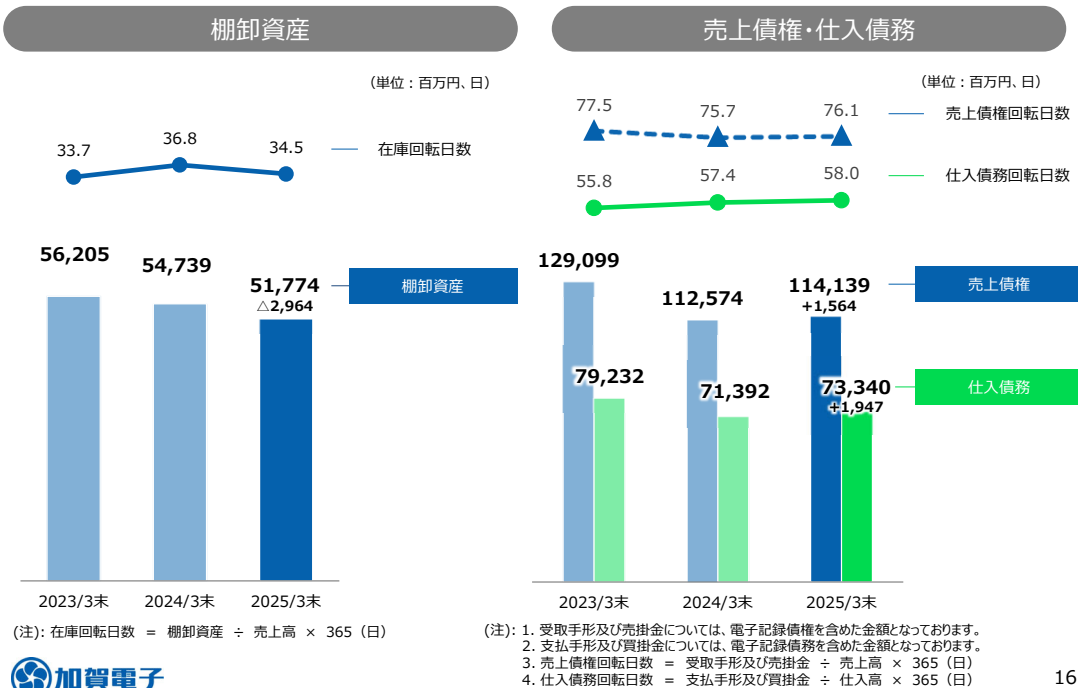
流動資産は、棚卸資産を29億円程度削減しつつも現預金の増加などにより前期末比で125億円増加し2,571億円に、固定資産は、海外拠点の工場への設備投資や投資有価証券の取得などにより前期末比で63億円増加した485億円となり、総資産合計では、前期末比で188億円増加した3,056億円となりました。

負債の部は、買掛債務の増加、未払法人税等の増加などにより前期末比で37億円増加し

1,392億円に、純資産の部は、利益剰余金の積み増しなどにより前期末比で151億円増加した1,663億円となりました。

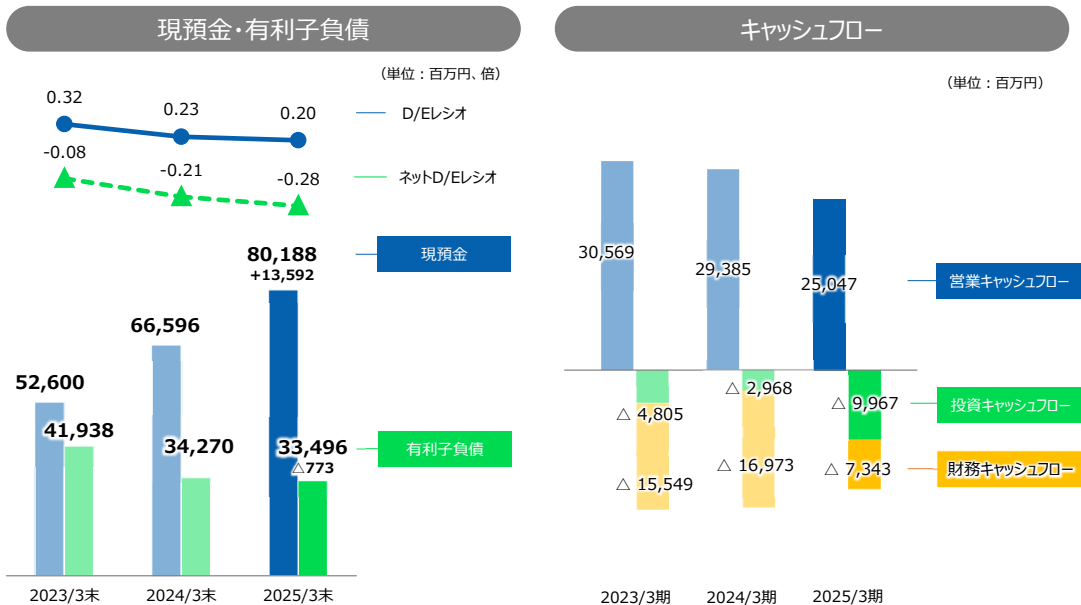
自己資本比率は前期末の52.6%から1.8ポイント上昇した54.4%となり、財務の安定性、健全性は引き続き向上しております。

貸借対照表主要項目



棚卸資産は、主要顧客の在庫調整が長期化している影響の中、仕入・調達の調整など努力した結果、前期末比で29億円減少した517億円となりました。また、在庫回転日数も、前期から2.3日改善した34.5日となり、在庫金額、回転日数ともに、本来の適正水準に戻ってきております。

貸借対照表主要項目/キャッシュフロー

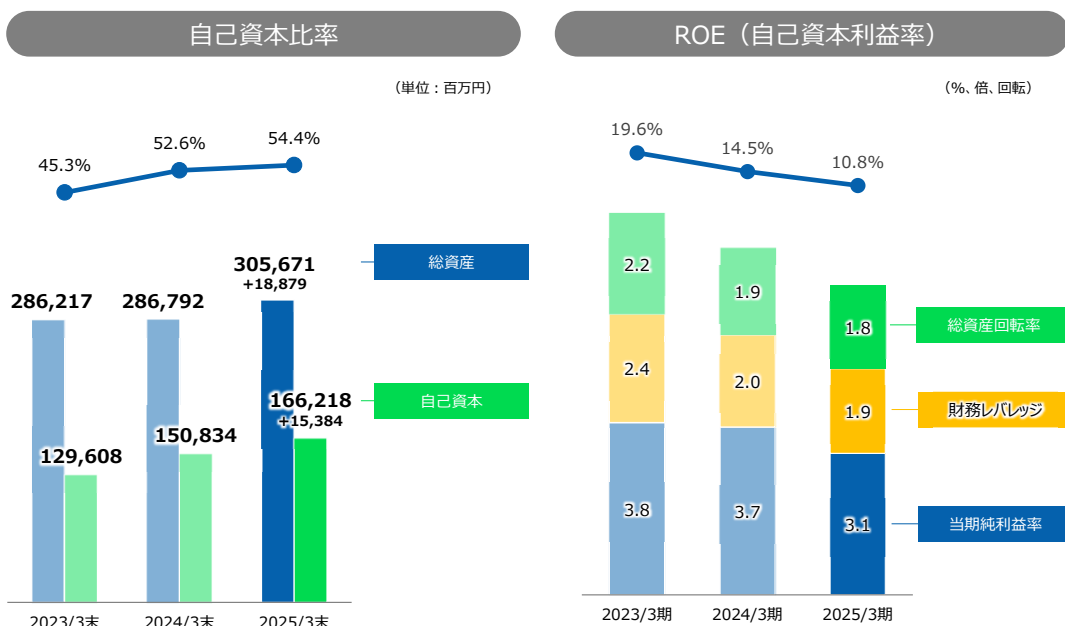


(注): 1. D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本
2. ネットD/Eレシオ = (有利子負債 - 現金) ÷ 自己資本



有利子負債は前期末から7億円減少した334億円、利益獲得による自己資本の積み増しもありDEレシオは0.20倍と、依然として低く抑えられています。現金残高は前期末比で135億円増加した801億円となり、現金の積み増しによって、ネットDEレシオは△0.28倍と前期末に引き続きさらにマイナス値で低く抑えられており、財務基盤の安定性・健全性を確保しております。M&Aなど今後の事業拡大に向けた積極的な成長投資に関して、財務を預かる立場としては、準備万端の体制で備えております。

経営指標：安定性・効率性



自己資本の増加により自己資本比率は54.4%と財務の安定性・健全性は高まる一方で、ROEは10.8%と資本効率はやや低下傾向にあります。

今後は、今期を初年度とする「中期経営計画2027」の基本方針に沿って、より一層収益力の向上に努めるとともに、M&Aや生産設備・人的資本など事業基盤への投資を含む「成長投資」ならびに「株主還元」に重点配分する戦略的なキャッシュアロケーションを実践し、創出した資金の積極的な投資、活用に努め、今期からの新たな経営目標としている「ROE 12%以上」の持続的な維持・向上を目指します。

2026年3月期 業績予想

2026年3月期 通期業績予想

(単位：百万円)

	2025/3期 実績	2026/3期 予想	前年比
売上高	547,779	530,000	△3.2%
営業利益	23,601 4.3%	23,000 4.3%	△2.5%
経常利益	22,593 4.1%	23,000 4.3%	1.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	17,083 3.1%	16,500 3.1%	△3.4%
EPS (円) *1	325.08 -	313.95 -	-
ROE	10.8% -	10.0% -	0.8pt
年間 配当金 (円)*2	中間 110.00	55.00	-
	期末 55.00	55.00	-

(注)：1. 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、EPSを算出しております。
2. 2025年3月期の期末配当金は、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の2025年3月期の期末配当金は110円00銭、2026年3月期（予想）の中間配当金は110円00銭、期末配当金は110円00銭となります。
3. 「x.x%」は利益率を表します。



20

2026年3月期 業績予想について、ご説明いたします。

先ほど申し上げました通り、一部顧客の在庫調整はいぜん長引いており、本格的な需要回復は2026年3月期後半を見込んでおります。このような環境の中、2026年3月期の業績予想につきましては、ほぼ前期並みの

売上高 5,300億円、営業利益・経常利益 230億円、当期純利益 165億円と、させて頂きました。

この業績予想の前提につきましては、後ほど、もう少し補足説明をさせて頂きます。なお、以上の業績予想を踏まえた2026年3月期のEPS(1株あたり当期純利益)は313円95銭を見込んでおります。

期末時におけるROEは10.0%と記載しておりますが、先ほども申し上げました通り、今後は「中期経営計画2027」の基本方針に沿って、より一層収益力の向上に努めるとともに、「成長投資」ならびに「株主還元」に重点配分する戦略的なキャッシュアロケーションを実践し、創出した資金の積極的な投資、活用に努め、今期からの新たな経営目標としている「ROE 12%以上」の持続的な維持・向上を目指して参ります。

また、当社は「中期経営計画2027」の中で、株主還元方針について見直しを行い、「連結配当性向30%～40%」

「安定的かつ継続的な配当の目安として、株主資本配当率・DOE4.0%」を指標に「利益水準や資本効率性に応じて、特別配当や自己株式取得の機動的な実施」を掲げております。

この方針に沿って、当期純利益は減益予想ではありますが、年間配当金につきましては、前年と同額に据え置き、110円を予定しております。これにより、連結配当性向は35%、DOEは3.9%を見込んでおります。

2026年3月期 セグメント別業績予想

(単位：百万円)

		2025/3期 実績	2026/3期 予想	前年比
電子部品	売上高	472,910	457,000	△3.4%
	セグメント利益	16,927 3.6%	16,500 3.6%	△2.5%
情報機器	売上高	42,652	45,000	5.5%
	セグメント利益	3,307 7.8%	3,500 7.8%	5.8%
ソフトウェア	売上高	3,387	3,000	△11.4%
	セグメント利益	509 15.1%	500 16.7%	△1.9%
その他	売上高	28,829	25,000	△13.3%
	セグメント利益	2,707 9.4%	2,500 10.0%	△7.7%
合計	売上高	547,779	530,000	△3.2%
	セグメント利益	23,601 4.3%	23,000 4.3%	△2.5%

(注)：1. セグメント利益は、各セグメントでは調整前の数値、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2. 「x.x%」は利益率を表します。

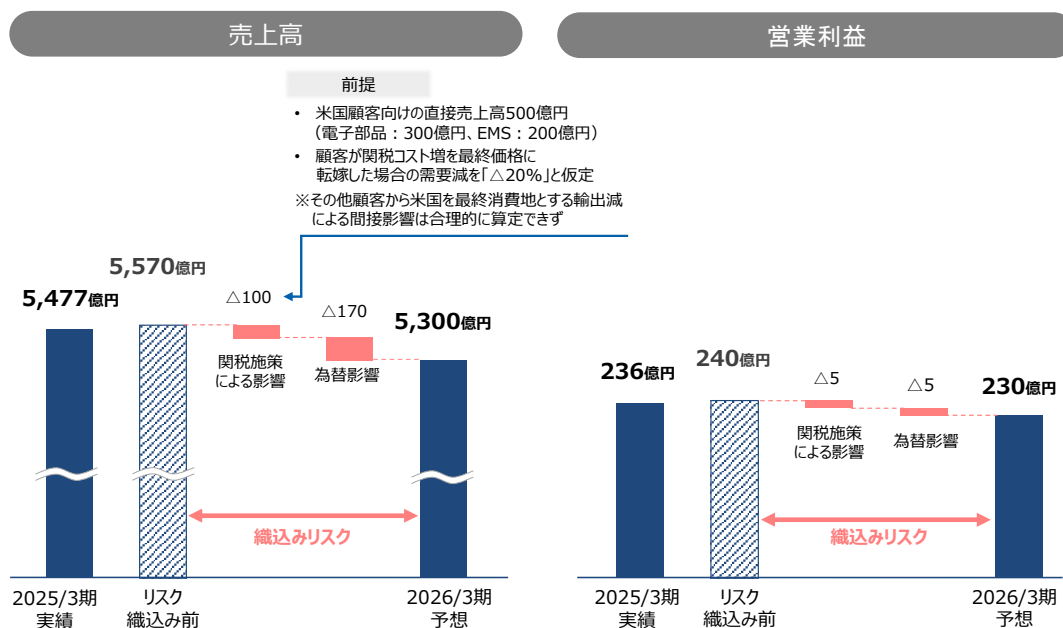


セグメント別業績予想につきましては、表の通りでございますが、ここで2026年3月期の通期業績予想の前提について、少し補足させていただきます。

2026年3月期 通期業績予想の前提

参考

(単位：億円)



22

繰り返しとなりますが、

一部顧客における在庫調整はいまだ長引いており、本格的な需要回復は2026年3月期の後半を見込んでおります。そのような環境の中、各事業の業績予想については、前期水準＋アルファを見込み、そこに、次の2つのリスクファクターを織り込んでおります。

まず、2026年3月期については、USDドルの想定為替レートを、前期に比べて12円強円高の140円とし、為替換算影響として売上高で170億円、営業利益で5億円の減少を織り込みました。

次に、米国における関税政策による当社業績への影響についても、一定の前提の下で算定し、売上高で100億円、営業利益で5億円の減少をリスクファクターとして織り込みました。

そのような前提に立ち、2026年3月期の見通しについては、

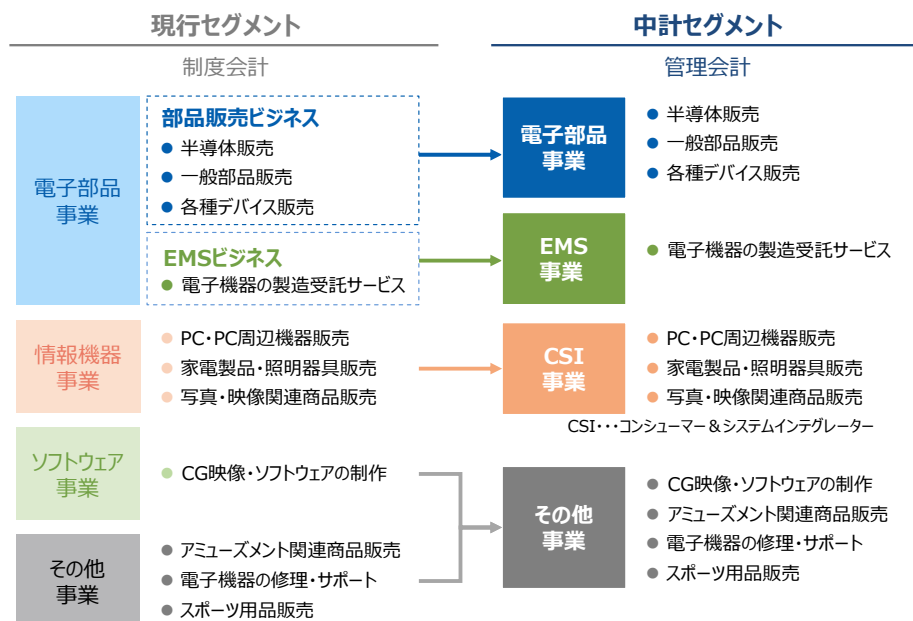
売上高5,300億円、営業利益230億円、当期純利益165億円としております。

23ページ以降には参考資料として、中期経営計画に沿ったセグメントによる任意開示の情報や、3か月毎のセグメント別や地域別売上高のグラフ、為替レート・為替感応度の情報、会社別の増減分析のグラフ、主要顧客向けの販売動向、直近の業績トレンドなども載せてございますので、併せてご覧いただければと思います。

參考資料

中期経営計画に伴うセグメント開示に関して

制度会計としての現行セグメントでの継続開示と併せ、中計に沿ったセグメントによる任意開示を行う



2025年3月期 中計セグメント別業績

(単位：百万円)

		2024/3期 実績	2025/3期 実績	前年比
電子部品	売上高	360,743	347,740	△3.6%
	セグメント利益	14,228 3.9%	10,234 2.9%	△28.1%
EMS	売上高	120,478	134,544	11.7%
	セグメント利益	7,375 6.1%	7,372 5.5%	△0.0%
CSI	売上高	44,305	42,652	△3.7%
	セグメント利益	2,924 6.6%	3,307 7.8%	13.1%
その他	売上高	17,170	22,841	33.0%
	セグメント利益	1,208 7.0%	2,537 11.1%	110.0%
合計	売上高	542,697	547,779	0.9%
	セグメント利益	25,845 4.8%	23,601 4.3%	△8.7%

(注)：1. セグメント利益は、各セグメントでは調整前の数値、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2. 「×.×%」は利益率を表します。

2025年3月期 中計セグメント別業績（直近3カ月）

（単位：百万円）

		2024/3期 4Q実績 (前年同期)		2025/3期 3Q実績 (直前期)		2025/3期 4Q実績 (当期)		前年同期比	直前期比
電子部品	売上高	89,705		87,802		93,751		4.5%	6.8%
	セグメント利益	2,472	2.8%	3,039	3.5%	2,175	2.3%	△12.0%	△28.4%
EMS	売上高	27,355		34,597		34,965		27.8%	1.1%
	セグメント利益	1,433	5.2%	1,931	5.6%	1,276	3.6%	△11.0%	△33.9%
CSI	売上高	14,038		8,320		15,699		11.8%	88.7%
	セグメント利益	1,002	7.1%	561	6.7%	1,353	8.6%	35.1%	141.2%
その他	売上高	5,138		6,457		7,119		38.5%	10.2%
	セグメント利益	436	8.5%	972	15.1%	718	10.1%	64.8%	△26.1%
合計	売上高	136,239		137,178		151,536		11.2%	10.5%
	セグメント利益	5,353	3.9%	6,554	4.8%	5,545	3.7%	3.6%	△15.4%

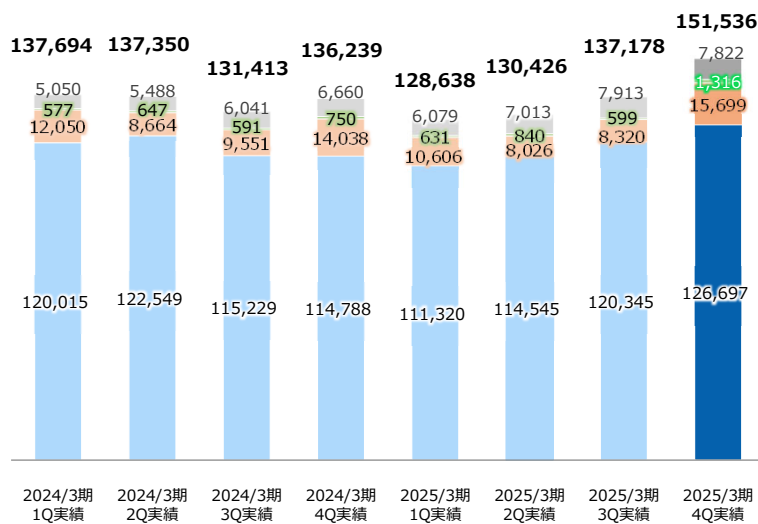
（注）：1. セグメント利益は、各セグメントでは調整前の数値、合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。
2. 「×.×%」は利益率を表します。



2025年3月期：セグメント別売上高（四半期推移）

売上高

（単位：百万円）



連結合計
前年同期比：+15,297
直前期比：+14,358

その他
前年同期比：+1,162
直前期比：△90

ソフトウェア
前年同期比：+565
直前期比：+717

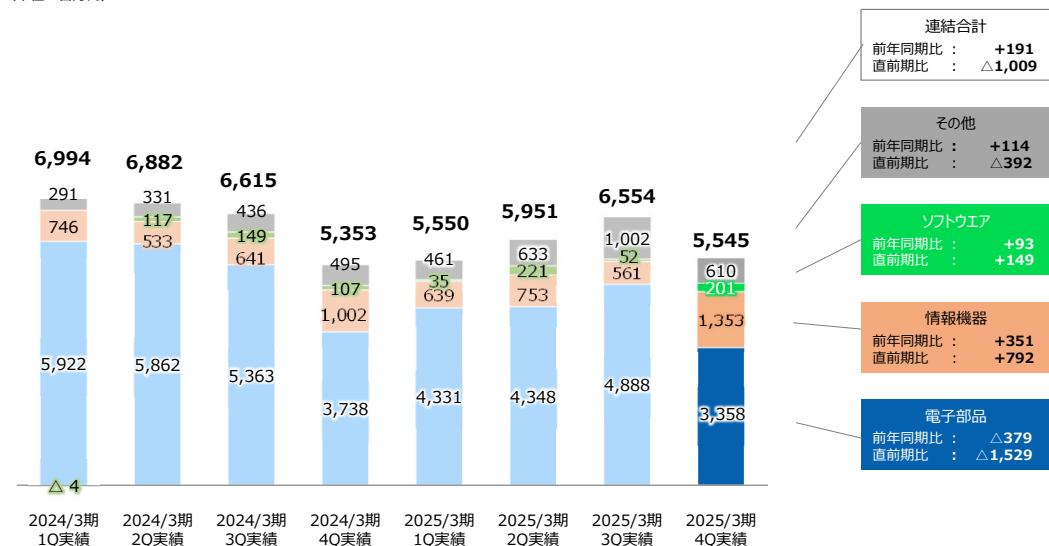
情報機器
前年同期比：+1,660
直前期比：+7,379

電子部品
前年同期比：+11,908
直前期比：+6,351

2025年3月期：セグメント別営業利益（四半期推移）

セグメント利益・営業利益

（単位：百万円）

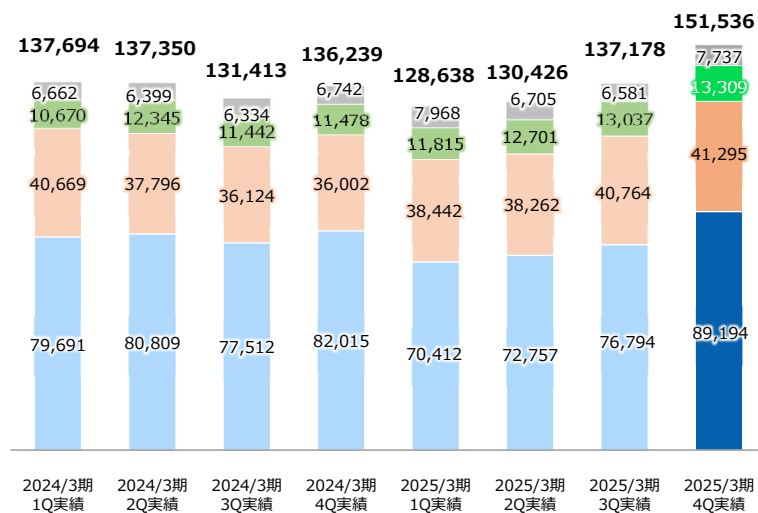


（注）：セグメント利益は、セグメント別では調整前の数値、連結合計は調整後の数値（営業利益）を記載しております。

2025年3月期：地域別売上高（四半期推移）

売上高

（単位：百万円）



連結合計
前年同期比：+15,297
直前期比：+14,358

欧州
前年同期比：+994
直前期比：+1,155

北米
前年同期比：+1,831
直前期比：+272

アジア
前年同期比：+5,292
直前期比：+530

日本
前年同期比：+7,178
直前期比：+12,399

為替レート／為替感応度

	2024/3期 実績 (円)	2025/3期 実績 (円)	(参考) 1%変動による影響額 (百万円)		2026/3期 前提 (円)
			売上高	営業利益	
米国ドル	144.62	152.58	2,157	37	140.00
人民元	19.82	21.02	257	13	20.00
タイバーツ	4.11	4.38	311	18	4.50
香港ドル	18.48	19.58	207	5	19.00
ユーロ	156.80	163.75	6	0	160.00

2025年3月期 会社別「売上高～営業利益」増減分析

(単位：百万円)

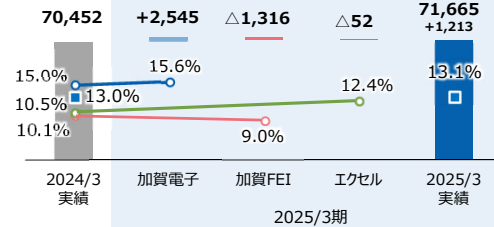
売上高

加賀電子、加賀FEIともに、在庫調整影響があるも堅調。
エクセルは、大口顧客向け取引の終息により減収。



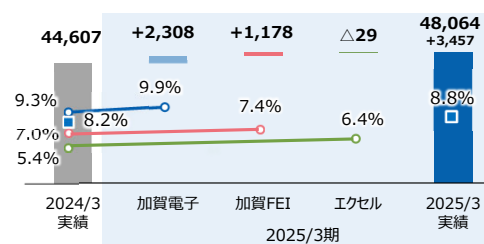
売上総利益 / 売上総利益率

加賀電子は売上増、ミックス良化により増益、利益率も向上。
加賀FEIは、ミックス悪化により利益率低下し減益。



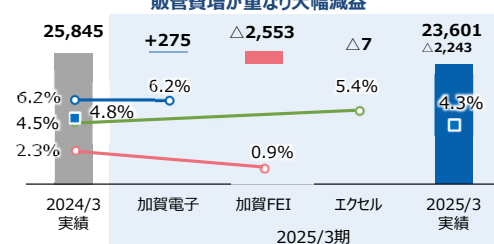
販管費 / 販管費率

加賀電子および加賀FEIは、賃上げ、物流費増により販管費増。



営業利益 / 営業利益率

加賀電子は増益確保も、加賀FEIは売上総利益減に
販管費増が重なり大幅減益



(注)：会社別の売上総利益および営業利益は、連結調整前の数値を記載しております。
なお、連結調整額は売上総利益は36百万円、営業利益は41百万円です。

2025年3月期 会社別「売上高～営業利益」増減分析（直近3カ月）

（単位：百万円）

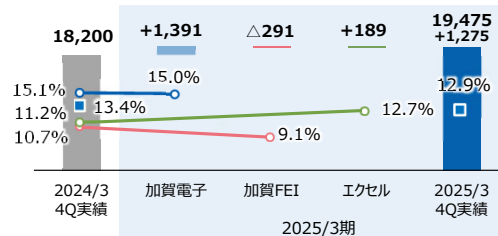
売上高

3社とも電子部品事業における在庫調整局面緩和により増収。



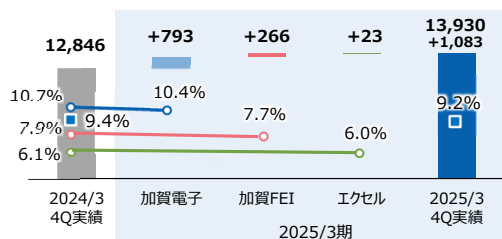
売上総利益 / 売上総利益率

加賀電子は売上増、エクセルは販売ミックス良化により増益。
加賀FEIは売上増も、ミックス悪化により減益。



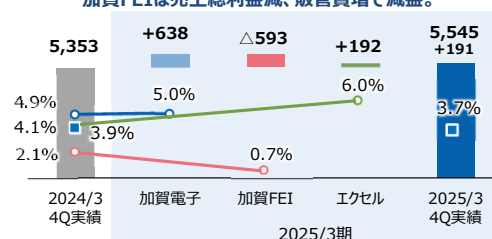
販管費 / 販管費率

加賀電子、加賀FEIは賃上げ影響による販管費増



営業利益 / 営業利益率

加賀電子、エクセルは販管費増を吸収し増益確保。
加賀FEIは売上総利益減、販管費増で減益。



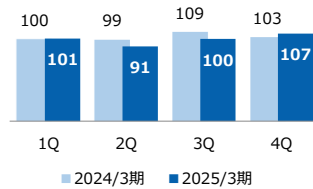
（注）：会社別の売上総利益および営業利益は、連結調整前の数値を記載しております。
なお、連結調整額は売上総利益は29百万円、営業利益は72百万円です。

電子部品事業 主要顧客向け販売動向

■ 車載機器関連A社

YoY: +4.0%

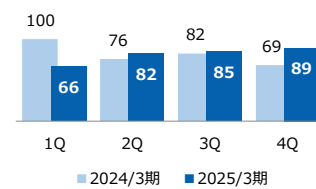
QoQ: +6.5%



■ 空調機器関連B社

YoY: +30.3%

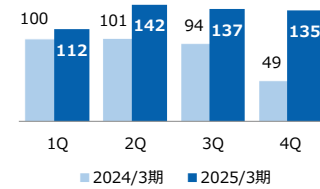
QoQ: +4.9%



■ 事務機器関連C社

YoY: +174.7%

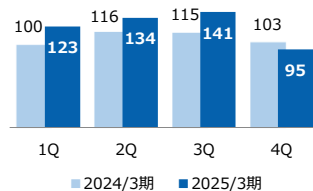
QoQ: △1.3%



■ 車載機器関連D社

YoY: △7.7%

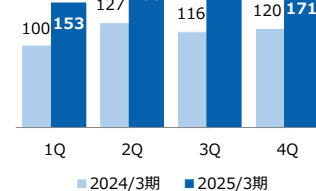
QoQ: △32.4%



■ 産業機器関連E社

YoY: +43.0%

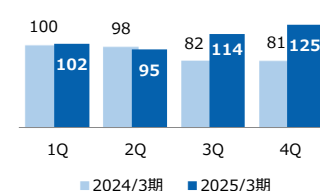
QoQ: △15.5%



■ 医療機器関連F社

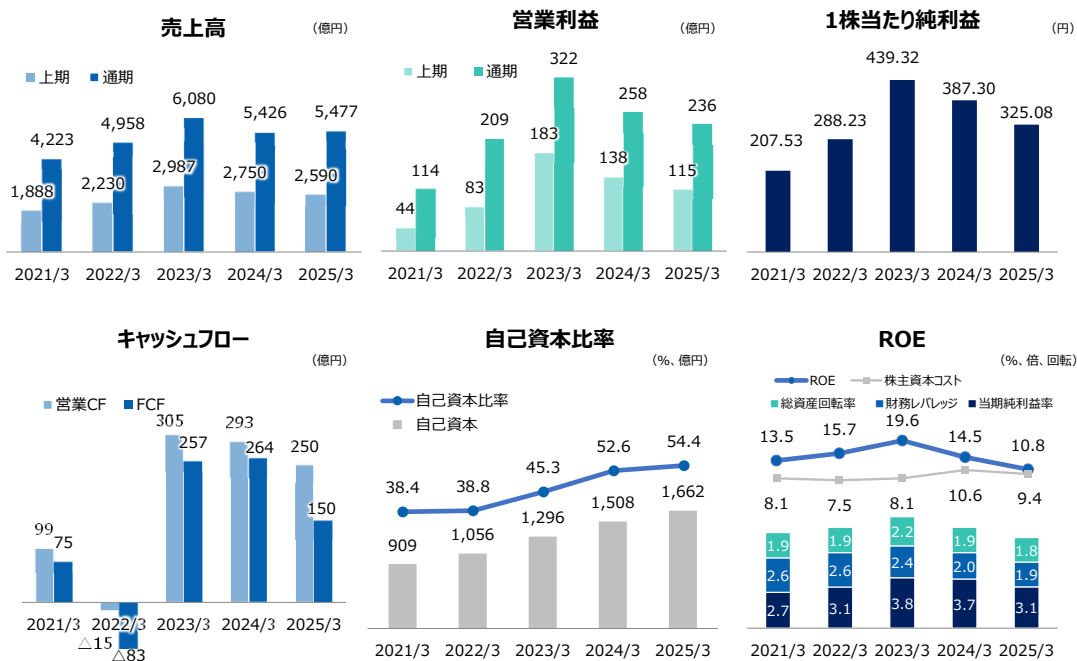
YoY: +54.1%

QoQ: +5.0%



(注) 2024年3月期1Qの売上高を100として指数化

直近5年の業績トレンド



(注) 当社は、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり利益は、分割日以前についても当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しております。

『すべてはお客様のために』



問合せ先：IR・広報部

〒101-8629 東京都千代田区神田松永町20番地

TEL:03-5657-0106

FAX:03-3254-7131

E-mail : webmaster@taxan.co.jp

<https://www.taxan.co.jp>

私からの、2025年3月期の決算概要説明は以上となります。
御視聴、誠にありがとうございました。

■ 将来見通しに係わる記述についての注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

■ 本説明資料における表示方法

数値：表示単位未満を切り捨て

比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入